

教科		書写	学年	第2学年	
「支援」は、「B」に至らない児童に対する支援・援助の方法例。					
単元名	時数	単元到達目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
町の 文字たんけん	1	○町の中には、いろいろな文字があることに気づき、文字や書写学習に対する関心を高めることができる。	B ：町の中にあるさまざまな文字に気づいている。 町の中にある文字をノートに書いている。 A ：町の中にあるさまざまな文字に、よく気づいている。 町の中にあるさまざまな文字をノートに書いている。 支援 ：文字が書かれている場所について知らせる。カードに書く方法について説明する。	B ：町の中にあるさまざまな文字が何のために書かれているのか、考えている。 A ：町の中にあるさまざまな文字が何のために書かれているのか、よく考えている。 支援 ：文字が提示されていると便利である例について気づくようにする。	B ：町の中にあるさまざまな文字を探そうとしている。 A ：町の中にあるさまざまな文字を、粘り強く探すようにしている。 身のまわりには多くの文字があることに気づき、文字を意識的に見たり読んだりしている。 支援 ：文字はどんなところで見つけられるか、身近な場所を説明する。ふだんの生活の中で見られる文字について、具体的に説明する。
もくじ 学しゅうの めあて 1 はじめの 学しゅう ①文字を 書く しせい ②えんぴつの もち方 ③学しゅうの すずめ方 ④しよしゃの 体そう	1	○1年生の書写学習で身につけたよい姿勢・鉛筆の持ち方、学習の進め方、点画の書き方を確認することができる。	B ：よい姿勢・鉛筆の持ち方がわかっている。 よい姿勢・鉛筆の持ち方で、点画の書き方を理解して書いている。 学習の進め方を理解している。 A ：よい姿勢・鉛筆の持ち方で書くことを理解している。 よい姿勢・鉛筆の持ち方で、点画の書き方をよく理解して書いている。 学習の進め方を、よく理解している。 支援 ：よい姿勢・鉛筆の持ち方で書くことの大切さについて理解を促し、ポイントを具体的に説明する。 点画の書き方について、「すうっ」「ひたっ」などの声かけをしながら一緒に運筆の動作をする。 学習の進め方を常に確認できるように、各手順を黒板に貼っておく。	B ：よい姿勢・鉛筆の持ち方について考えている。 点画の書き方について運筆方法を考えている。 学習の進め方について、流れを考えている。 A ：自分の姿勢・鉛筆の持ち方の良さについて考えている。 点画の書き方について、運筆方法をよく考えている。 学習の進め方について、流れをよく考えている。 支援 ：どこを直すか姿勢・鉛筆の持ち方がよくなるかを、基準に照らして説明する。 止めるところ、筆圧をかけるところなどに焦点を絞って説明する。 なぜか試し書きをするのか具体的に説明する。	B ：ふだんの書く場面でも、よい姿勢やよい持ち方で書こうとする意識をもっている。 他の文字を書く場面でも、点画の書き方に気をつけて書く意識をもっている。 A ：常に、よい姿勢・鉛筆の持ち方で書こうとする意識をもっている。 ふだんの書く場面でも、点画の書き方に気をつけて書く意識をもっている。 支援 ：よい姿勢・鉛筆の持ち方で書くことができるように意識を促す。 書写の授業以外でも気をつけるように呼びかける。
2 かたかなの 学しゅう 画の 方こう		○片仮名の画の方向の違いを理解することができる。 ○片仮名の画の方向の違いに気をつけて、正しく書くことができる。 ○促音、長音、濁音、半濁音の書き方の書く位置を確かめて書くことができる。	B ：「はらい」の方向について理解している。 「はらい」の方向に気をつけて書いている。 A ：「はらい」の方向の違いを、よく理解している。 支援 ：自分が書きにくい文字について、正しい書き方と比べてみるができるようにする。	B ：はらう方向の違いについて考えている。 A ：はらう方向の違いについて、よく考えている。 支援 ：教科書のイラストなどを使って、はらう方向の違いが確かめられるようにする。	B ：ほかの文字でも、片仮名の字形に気をつけて書こうとしている。 A ：片仮名の終筆と送筆に気をつけて、積極的に書こうとしている。 支援 ：教科書のイラストなどを使って、片仮名の言葉を書く活動に関心をもつようはたらきかける。
【レック・トライ】 ①メモの とり方 —お話の 聞きとりメモ	3	○話をよく聞いて、大事なことをメモすることができる。 ○字形を整えて、丁寧にまとめカードを書くことができる。	B ：メモの取り方を理解している。 A ：メモの取り方を、よく理解している。 支援 ：線を引かなかった部分に着目し、メモを取るときに省略した内容に気づくよう促す。	B ：メモの取り方について考えている。 A ：メモの取り方について、よく考えている。 支援 ：教科書のメモを取るときに注意を参照するよう指示する。	B ：メモの取り方に気をつけて書こうとしている。 A ：ほかの学習場面や日常生活でも、メモの取り方に気をつけて積極的に書こうとしている。 支援 ：メモの取り方を身につけると、学習場面や日常生活で生かせることを知らせる。
【レック・トライ】 ②よこ書きの 書き方 —算数の ノート		○横書きの書き方や、数字の書き順と字形に気をつけて書くことができる。 ○他教科の学習や日常生活の中で、横書きの書き方に気をつけて書こうとする意欲をもつことができる。	B ：横書きの書き方を理解して書いている。 A ：横書きの書き方を、よく理解して書いている。 支援 ：数字の書き方についても、誤りやすい例をあげながら、正しい字形を確かめられるようにする。 十字線を入れます目録紙を使って、正しい位置を確かめられるようにする。	B ：縦書きの書き方との違いについて考えている。 A ：縦書きの書き方について、よく考えている。 支援 ：教科書を参照して、横書きの場合の拗音・促音などの正しい位置が確かめられるようにする。	B ：横書きの書き方について知り、学習への意欲をもっている。ほかの言葉でも、横書きの書き方に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：横書きの書き方について知り、積極的に学習に取り組もうとしている。 常に横書きの書き方に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：拗音、促音、句読点は、まず目の中のどの位置に書くのか、確かめられるようにする。 学習した以外の文字でも、横書きの書き方に気をつけて書く意識をもつことができる。
3 かん字の 学しゅう ①書きじゆん	2	○書き順の原則（横画から書く、長い縦画から書く）を理解することができる。 ○書き順に従い、文字を正しく書くことができる。 ○似ている部分のある文字を、書き順に従い、正しく書くことができる。	B ：片仮名の正しい書き順や字形について理解している。 A ：片仮名の正しい書き順や字形について、よく理解している。 支援 ：まちがえやすい書き順や字形について具体的に説明する。	B ：片仮名の書き順や字形について考えている。 A ：片仮名の書き順や字形の良さについて、よく考えている。 支援 ：拡大文字や色分け文字などを使って、正しい書き順や字形が確かめられるようにする。	B ：ほかの文字でも、書き順の原則に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：片仮名の表を見ながら、片仮名の言葉を書く活動に、積極的に取り組もうとしている。 支援 ：これまでの学習を想起させ、書き順や字形に気をつけて書くよう呼びかける。
②画の 方こう 文字を くらべて 話し合おう	4	○「はらい」「おれ」「まがり」「そり」「点や画」の方向の違いを理解することができる。 ○「はらい」「おれ」「まがり」「そり」「点や画」の方向に気をつけて、正しく書くことができる。	B ：「はらい」「おれ」「まがり」「そり」「点や画」の方向の違いについて理解している。 「はらい」「おれ」「まがり」「そり」「点や画」の方向に気をつけて、正しく書いている。 A ：「はらい」「おれ」「まがり」「そり」「点や画」の方向の違いについて、よく理解している。 「はらい」「おれ」「まがり」「そり」「点や画」の方向に気をつけて、字形を整えて書いている。	B ：「はらい」「おれ」「まがり」「そり」「点や画」の方向の違いについて考えている。 A ：「はらい」「おれ」「まがり」「そり」「点や画」の方向の違いについて、よく考えている。 支援 ：拡大文字や色分け文字などを使って、正しい書き順や字形が確かめられるようにする。	B ：「はらい」「おれ」「まがり」「そり」「点や画」の方向に気をつけて書こうとしている。 ほかの文字でも画の方向に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：「はらい」「おれ」「まがり」「そり」「点や画」の方向に気をつけて、積極的に書こうとしている。 常に、画の方向の違いに気をつけて書こうとする意識をもっている。

			<p>支援: 水書用紙などを使って、画の方向の違いを比べてみるができるようにする。</p>	<p>支援: 拡大文字などを使って、画の方向の違いについて確かめられるようにする。</p>	<p>支援: 教科書の図版を使って、画の方向について関心を高めるよう促す。ほかの文字でも、画の方向の違いがあることに気づくようにはたらきかける。</p>
④画の 長さ、画と 画との 間	3	<p>○画の長さの違いと、画と画との間のとおり方を理解することができる。</p> <p>○画の長さの違いと、画と画との間のとおり方に気をつけて、正しく書くことができる。</p>	<p>B: 画の長さの違いについて理解している。画の長さについて書いている。画と画との間のとおり方について理解している。画と画との間のとおり方に気をつけて書いている。</p> <p>A: 画の長さの違いについて、よく理解している。画の長さについて、字形を整えて書いている。画と画との間のとおり方について、よく理解している。画と画との間のとおり方に気をつけて、字形を整えて書いている。</p> <p>支援: 拡大文字などを使って、画の長さや画と画との間のとおり方を比べてみるができるようにする。どの画を長く書くのかを具体的に説明する。画と画との間のとおり方について、具体的に説明する。</p>	<p>B: 画の長さの違いについて考えている。画と画との間のとおり方について考えている。</p> <p>A: 画の長さの違いについて、よく考えている。画と画との間のとおり方について、よく考えている。</p> <p>支援: 拡大文字などを使って、画の長さや画と画との間のとおり方について確かめられるようにする。</p>	<p>B: ほかの文字でも画の長さについて書くこととする意識をもっている。ほかの文字でも画と画との間のとおり方に気をつけて書くこととする意識をもっている。</p> <p>A: 常に画の長さの違いについて書くこととする意識をもっている。常に画と画との間のとおり方に気をつけて書くこととする意識をもっている。</p> <p>支援: 学習した以外の文字でも、画の長さ、画と画との間のとおり方に気をつけて書くよう、仲間への漢字を示して意識づける。</p>
⑤画の つき方と 交わり方	2	<p>○画のつき方と交わり方を理解することができる。</p> <p>○画のつき方と交わり方に気をつけて、正しく書くことができる。</p>	<p>B: 画のつき方・交わり方について理解している。画のつき方・交わり方に気をつけて書いている。</p> <p>A: 画のつき方・交わり方について、よく理解している。正しい画のつき方・交わり方で、字形を整えて書いている。</p> <p>支援: 拡大文字などを使って、画と画とがつかうところ・交わりどころや、画のつき方・交わり方を具体的に説明する。教科書の図版を参照しながら、画のつき方・交わり方について確かめられるようにする。</p>	<p>B: 画のつき方・交わり方について考えている。</p> <p>A: 画のつき方・交わり方について、よく考えている。</p> <p>支援: 拡大文字などを使って、画のつき方・交わり方が確かめられるようにする。</p>	<p>B: ほかの文字でも、画のつき方・交わり方に気をつけて書くこととする意識をもっている。</p> <p>A: 常に画のつき方・交わり方に気をつけて書くこととする意識をもっている。</p> <p>支援: 拡大文字などを使って、画のつき方・交わり方に気づくようにはたらきかける。学習した以外の文字でも、画のつき方・交わり方に気をつけて書くよう、仲間への漢字を示して意識づける。</p>
⑥文字の 中心	3	<p>○文字の中心（縦画が中心にある文字、書き出しが中心の文字など）を理解することができる。</p> <p>○文字の中心に気をつけて、正しく書くことができる。</p>	<p>B: 文字の中心について理解している。文字の中心に気をつけて、正しく書いている。</p> <p>A: 文字の中心について、よく理解している。文字の中心に気をつけて、字形を整えて書いている。</p> <p>支援: 文字の中心がわかりやすい文字を例にあげて理解を促す。中心線があるまま自由に書くことで、自分の書いた文字について中心を確かめられるようにする。</p>	<p>B: 文字の中心について考えている。</p> <p>A: 文字の中心について、よく考えている。</p> <p>支援: 拡大文字などを使って、文字の中心にあたる部分について確かめられるようにする。</p>	<p>B: 文字の中心に気をつけて書いている。ほかの書写場面でも、文字の中心に気をつけて書くこととする意識をもっている。</p> <p>A: 文字の中心に気をつけて、字形を整えて書いている。常に文字の中心に気をつけて書くこととする意識をもっている。</p> <p>支援: フェルトペンの文字や拡大文字などを使って、文字の中心になる部分を指でなぞるようにする。書写の授業以外でも、文字の中心に気をつけて書くよう意識づける。</p>
【知りたい 文字の せかい】 何の 形から できた かん字かな	適時	<p>○動物の形からできた漢字があることを知り、文字に対する興味・関心を高めることができる。</p>	<p>B: 自然や動物の形からできた漢字があることを知っている。文字の中心に気をつけて書いている。</p> <p>A: 自然や動物の形からできた漢字があることを理解している。学習した漢字について、字形を整えて書いている。</p> <p>支援: 漢字の成り立ちを視覚的に捉えられるようにする。含まれる学習を生かして、丁寧に書くように助言する。</p>	<p>B: 漢字の成り立ちについて考えている。</p> <p>A: 漢字の成り立ちについて、よく考えている。</p> <p>支援: 教科書にある、漢字の成り立ちクイズに取り組みなど、漢字の成り立ちについて考えるよう支援する。</p>	<p>B: ほかの漢字についても、その成り立ちについて関心をもっている。</p> <p>A: ほかの漢字についても、その成り立ちについて関心をもっている。</p> <p>支援: ほかの文字を例示することで、漢字の成り立ちについて関心が高まるようにはたらきかける。</p>
⑦年がじょうと 書きぞめ ●年がじょう	2	<p>○年賀状の書き方を理解し、年賀状を書くこととする意欲をもつことができる。</p> <p>○字形や中心に気をつけて、年賀状を丁寧に書くことができる。</p>	<p>B: 年賀状の書き方について理解している。年賀状の書き方を理解して書いている。字形や中心について理解している。字形や中心に気をつけて書いている。</p> <p>A: 年賀状の書き方について、よく理解している。字形や中心について、よく理解している。年賀状の書き方をよく理解して書いている。中心に気をつけて、字形を整えて書いている。</p> <p>支援: 相手に確実に届けるために正確に書くことを助言する。年賀状の書き方がよく理解している場合は、鉛筆で中心線を書く書き、後で消すようにはたらきかける。</p>	<p>B: 年賀状の書き方について考えている。字形や中心について考えている。</p> <p>A: 年賀状の書き方について、よく考えている。字形や中心について、よく考えている。</p> <p>支援: 教科書の教材を参照しながら、はがきの基本的な書き方について確認できるようにする。</p>	<p>B: 年賀状を書く活動に、積極的に取り組もうとしている。字形や中心に気をつけて書くこととしている。書写の授業以外でも、字形や中心に気をつけて書くこととする意識をもっている。</p> <p>A: 年賀状を書く活動に、すすんで取り組もうとしている。中心に気をつけて、字形を整えて丁寧に書くこととしている。常に書写の授業以外でも、字形や中心に気をつけて書くこととする意識をもっている。</p> <p>支援: これまで学習してきた、字形や中心に気をつけて取り組むようにはたらきかける。ふだんの生活の中でも気をつけて書くよう意識づける。</p>

<p>●書きぞめ</p>	<p>○句読点の書き方のきまりを確認したり、フェルトペンの持ち方を理解したりして、書きぞめを書こうとする意欲をもつことができる。</p> <p>○鉛筆やフェルトペンを正しく持ち、字形や中心に気を付けて、丁寧に書くことができる。</p>	<p>B：書き出しの位置や、句読点を書く位置、字形や文字の中心について理解している。書き出しの位置や、句読点を書く位置に気を付けて正しく書いている。字形や文字の中心に気を付けて正しく書いている。</p> <p>A：書き出しの位置や、句読点を書く位置、字形や文字の中心について、よく理解している。書き出しの位置や、句読点を書く位置を正しく書いている。文字の中心に気を付けて、字形を整えて書いている。</p> <p>支援：自分が書いた文字について、正しい文字と比べてみるができるようにする。今までの学習を想起しながら、字形や文字の中心に気を付けるよう呼びかける。</p>	<p>B：書き出しの位置や、句読点を書く位置について考えている。字形や文字の中心について考えている。</p> <p>A：書き出しの位置や、句読点について、よく考えている。字形や文字の中心について、よく考えている。</p> <p>支援：今までに学習した内容を確認められるようにする。</p>	<p>B：書きぞめに対して、意欲的に取り組もうとしている。字形や文字の中心に気を付けて書こうとしている。ほかの文字でも書き出しの位置や、句読点を書く位置、書き順や字形に気を付けて書こうとする意欲をもっている。</p> <p>A：書きぞめに対して、積極的に取り組もうとしている。文字の中心に気を付けて、字形を整えて書こうとしている。常に書き出しの位置や、句読点を書く位置、書き順や字形に気を付けて書こうとする意欲をもっている。</p> <p>支援：今までの学習を想起しながら、苦手とする部分について重点的に取り組むようはたらきかける。学習した以外の文字でも気を付けて書くよう意識づける。</p>
<p>の文字の 形</p>	<p>○文字の外形の違いを理解することができる。</p> <p>○文字の外形に気を付けて、正しく書くことができる。</p>	<p>B：文字の外形の違いについて理解している。文字の外形に気を付けて書いている。</p> <p>A：文字の外形の違いについてよく理解している。文字の外形の違いに気を付けて、字形を整えて書いている。</p> <p>支援：おおよその形を身近なものにたとえて、どのような形かを具体的に説明する。外形が書かれている練習用紙の中に文字を書き、おおよその形を確認められるようにする。</p>	<p>B：文字の外形の違いについて考えている。</p> <p>A：文字の外形の違いについて、よく考えている。</p> <p>支援：文字のまわりを鉛筆で囲み、おおよそのような形になるか確かめられるようにする。</p>	<p>B：文字の外形の違いに気づき、学習への意欲をもっている。ほかの文字でも文字の形に気を付けて書こうとする意欲をもっている。</p> <p>A：文字の外形の違いに気づき、進んで学習に取り組んでいる。常に文字の形の違いに気を付けて書こうとする意欲をもっている。</p> <p>支援：おおよその形を身近なものにたとえて、外形の違いが確かめられるようにする。ほかの文字でも、文字の形の違いがあることに気づくようにはたらきかける。</p>
<p>【書いて つたえ合おう】</p>	<p>○学習したことを生かして、筆記用具や用紙を選び、丁寧に書くことができる。</p> <p>○これまで学習したことを生かして、丁寧に書くことができる。</p>	<p>B：横書きのカードの書き方について理解している。本の紹介カードの書き方について理解している。字形や書き順に気を付けて書いている。</p> <p>A：横書きのカードの書き方について、よく理解している。本の紹介カードの書き方について、よく理解している。字形や書き順に気を付けて、丁寧に書いている。</p> <p>支援：教科書の作例を提示するなどして、書き方について理解を促す。巻末漢字表などを活用し、字形や書き順を確認められる。</p>	<p>B：招待状の書き方について考えている。本の紹介カードの書き方について考えている。</p> <p>A：招待状の書き方について、よく考えている。本の紹介カードの書き方について、よく考えている。</p> <p>支援：教科書の作例を提示するなどして、書き方について考えるよう促す。</p>	<p>B：ほかの学習場面においても、相手のことを考えて丁寧に書く意欲をもっている。</p> <p>A：常に相手のことを考えて丁寧に書く意欲をもっている。</p> <p>支援：招待状を贈りたい相手と、伝える内容について考えることができるよう、具体例をもとに促す。ほかの学習場面においても、字形に気を付けて丁寧に書くよう意識づける。</p>
<p>学びの まとめ</p>	<p>○1年間の書写学習を振り返り、学習した内容を確かめることができる。</p> <p>○学習したことを生かして、時間割りの文字を正しく書くことができる。</p> <p>○字形や書く位置に気を付けて、丁寧に書くことができる。</p>	<p>B：字形や書く位置について理解している。字形や書く位置に気を付けて、丁寧に書いている。</p> <p>A：字形や書く位置について、よく理解している。書く位置に気を付けて、字形を整えて書いている。</p> <p>支援：字形や書く位置について確かめられるようにはたらきかける。</p>	<p>B：今まで学習した内容について考えている。</p> <p>A：今まで学習した内容について、よく考えている。</p> <p>支援：今まで学習した内容を、教科書を見ながら想起するようにはたらきかける。</p>	<p>B：学習したことを生かして、意欲的に書こうとしている。ほかの文字でも、書く位置に気を付けて、字形を整えて書こうとする意欲をもっている。</p> <p>A：学習したことを生かして、積極的に書こうとしている。常に書く位置に気を付けて、字形を整えて書こうとする意欲をもっている。</p> <p>支援：今まで学習した内容について、グループで話し合うよう促す。学習した以外の文章でも、書く位置に気を付けて、字形を整えて書くよう意識づける。</p>
<p>【はってん】 三年生から 毛ひょうの 学びゅうが はじまるよ。</p>				<p>B：3年生で学習する毛筆学習について、説明をよく聞いている。</p> <p>A：3年生で学習する毛筆学習について、説明をよく聞き、質問をしている。</p> <p>支援：筆記用具の違いに気づくよう、書き比べて確かめられるようにする。</p>
<p>【かん字の ひょう】 二年生で 学びゅうする かん字 一年生で 学びゅうした かん字</p>	<p>○2年生で学習した内容（書き順、画の方向、画の長さ、画と画の間、画のつき方、交わり方、文字の中心、文字の形）を確認することができる。</p> <p>○1年生で学習した終筆（「とめ」「はね」「はらい」）や送筆（「おれ」「まがり」「そり」）などの書き方を確認することができる。</p> <p>○1年生で学習した字形の整え方や書き順などを確かめることができる。</p>	<p>B：始筆・送筆・終筆の書き方や画の長短・方向について理解している。始筆・送筆・終筆などの違いによって、漢字の仲間がしきをしている。</p> <p>A：始筆・送筆・終筆の書き方や画の長短・方向、字形について、よく理解している。始筆・送筆・終筆などの違いによって、漢字を正しくグループ分けしている。</p> <p>支援：拡大文字などを使って、始筆・送筆・終筆の書き方や、画の長短・方向、字形などを比べてみるができるようにする。どの文字のどの部分に着目して探すが、具体的に説明する。</p>	<p>B：始筆・送筆・終筆の書き方や、画の長短・方向について考えている。</p> <p>A：始筆・送筆・終筆の書き方や、画の長短・方向、字形のしきしきを考えている。</p> <p>支援：拡大文字などを使って、始筆・送筆・終筆の正しい書き方や字形などが確かめられるようにする。</p>	<p>B：始筆・送筆・終筆の書き方や、画の長短・方向などに気を付けて確かめようとしている。ほかの文字でも始筆・送筆・終筆の書き方や画の長短・方向、字形に気を付けようとする意欲をもっている。</p> <p>A：始筆・送筆・終筆の書き方や、画の長短・方向などに気を付けて確かめようとしている。常に始筆・送筆・終筆の書き方や画の長短・方向、字形に気を付けようとする意欲をもっている。</p> <p>支援：拡大文字などを使って、始筆・送筆・終筆の書き方などに気を付けるよう呼びかける。学習した以外の文字でも、気を付けるよう意識づける。</p>
<p>【ひらがなの ひょう・かたかなの ひょう】</p>	<p>○平仮名・片仮名の書き順や字形、抑音・假音・音引きなどの書ききまりを確認することができる。</p> <p>○平仮名・片仮名の言葉を探す活動に、意欲的に取り組むことができる。</p>	<p>B：平仮名と片仮名の筆順や字形について理解している。</p>	<p>B：平仮名と片仮名の字形や筆順について考えている。</p>	<p>B：平仮名と片仮名の筆順や字形を確認めている。片仮名の言葉を探している。ほかの片仮名でも筆順や字形を確認めようとする意欲をもっている。</p>

			<p>A：平仮名と片仮名の筆順や字形について、よく理解している。</p> <p>支援：ふだん、字形が整えにくい文字に関し、教科書を見ながら確認できるようにする。</p>	<p>A：平仮名と片仮名の字形や筆順について、よく考えている。</p> <p>支援：間違えやすい字形について、重点的に確かめられるように呼びかける。</p>	<p>A：平仮名と片仮名の筆順や字形を、積極的に確かめている。</p> <p>仮名の言葉も、積極的に探している。</p> <p>常に筆順や字形を確かめて、丁寧に書くこととする意識をもっている。</p> <p>支援：間違えやすい筆順について、重点的に確かめられるように呼びかける。</p> <p>筆字の採集以外でも、常に気をつけるよう意識づける。</p>
--	--	--	--	--	--

教科	書写	学年	第4学年
----	----	----	------

教科	書写	学年	第4学年	評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体性・学習に取組む
世界の「こんには」	<p>○世界にはさまざまな文字があることを知り、文字に対する興味・関心を高めることができる。</p> <p>○日本の文字の特徴について、興味・関心を高めることができる。</p>	<p>○教科書の「世界の『こんには』」を音読する。</p> <p>○世界の文字について、その特徴や疑問点を自分が書く場合を想定して考え、グループで話し合う。</p> <p>○グループごとに発表する。</p>	<p>B：世界にはさまざまな文字があることについて知っている。</p> <p>日本の文字の特徴について知っている。</p> <p>A：世界にはさまざまな文字があることを理解している。</p> <p>日本の文字について理解している。</p> <p>支援：教科書紙面を使いながら説明をすることで理解を促す。</p>	<p>B：日常生活の中で見られる世界や日本の文字の印象について話し合い、考えている。</p> <p>A：日常生活の中で見られる世界や日本の文字の印象について進んで話し合い、よく考えている。</p> <p>支援：文字に関する発問を用意しておくことで、話し合いの観点を示すようにする。</p>	<p>B：世界の文字について、理解している。</p> <p>A：世界や日本の文字について、積極的に調べる。</p> <p>支援：教科書の例、または用意しておいた世界の文字の採集。</p>	
四年生で学習すること 目次 学習の進め方	<p>○1年間の学習内容や学習の進め方について確認し、書写学習に対する意欲をもつことができる。</p>	<p>○教科書を参照して、学習のめあてを知る。</p> <p>○1年間の学習内容を知る。</p>	<p>B：1年間のめあてや学習内容について知っている。</p> <p>A：1年間のめあてや学習内容について理解している。</p> <p>支援：前学年で学習した内容をふまえながら説明する。</p>	<p>B：1年間の学習内容を知らず、1年間の学習内容を調べる。</p> <p>A：1年間の学習内容を調べる。</p> <p>支援：教科書紙面を参照しながら、1年間の学習内容を調べる。</p>		
1 はじめの学習 1 毛筆用具の名前と置き方やあつかい方 2 よいしせいと筆の持ち方 3 3年生で学習したこと ■点画の種類 4 あとかたづけ	<p>○用具の並べ方や扱い方について確かめることができる。</p> <p>○よい姿勢や筆の持ち方について確かめることができる。</p> <p>○常によい姿勢やよい持ち方を意識して書くことができる。</p> <p>○3年生で学習したことを確かめることができる。</p>	<p>○姿勢図を見て、用具の置き方、正しい姿勢、用具の持ち方を確認する。</p> <p>○教科書の紙面を参照しながら、「点画の種類」と筆圧のかけ方について理解する。</p> <p>○筆の穂の柔らかさや筆圧を意識して、いろいろな線を書く。</p> <p>○ワークシートを活用して、「点画の種類」を書く。</p> <p>○自分の課題を見つけて練習する。</p> <p>○自分の課題とした「点画の種類」をまとも書きする。</p> <p>○後片づけの仕方を確認する。</p>	<p>B：用具の扱い方や姿勢、筆の持ち方、筆の扱い方を理解している。</p> <p>用具の扱い方や姿勢、筆の持ち方が身についている。</p> <p>3年生で学習した「筆圧」や「点画の種類」について理解している。</p> <p>A：用具の扱い方や、よい姿勢、筆の持ち方をよく理解している。</p> <p>用具の扱い方や姿勢、筆の持ち方が、よく身についている。</p> <p>3年生で学習した「筆圧」や「点画の種類」について、よく理解している。</p> <p>支援：よい姿勢やよい筆の持ち方で書くことの大切さについて理解を促す。</p> <p>用具の扱い方やよい姿勢、筆の持ち方のポイントを具体的に説明する。</p> <p>教科書紙面を参照しながら、「点画の種類」と筆圧のかけ方について理解を促す。</p>	<p>B：用具の扱い方や姿勢、筆の持ち方、筆の扱い方の良さしを判断できる。</p> <p>筆の穂の柔らかさや筆圧について考えている。</p> <p>A：用具の扱い方や姿勢、筆の持ち方、筆の扱い方の良さしを判断できる。</p> <p>筆の穂の柔らかさや筆圧について、よく考えている。</p> <p>支援：どこを正すと姿勢、筆の持ち方がよくなるかを、基準に照らして説明する。</p> <p>筆の状態を確認し、筆圧がしやうい状態に整えるようにする。</p> <p>教科書紙面を参照しながら、筆圧を三段階でとらえて、力の入れ方と太さを確かめられるようにする。</p>	<p>B：用具の扱い方やよい姿勢、筆の持ち方、筆の扱い方を積極的に確かめようとしている。</p> <p>A：用具の扱い方やよい姿勢、筆の持ち方、筆の扱い方を積極的に確かめようとしている。</p> <p>支援：用具の扱い方やよい姿勢、筆の持ち方がよくなるかを、基準に照らして説明する。</p> <p>筆の状態を確認し、筆圧がしやうい状態に整えるようにする。</p> <p>教科書紙面を参照しながら、筆圧を三段階でとらえて、力の入れ方と太さを確かめられるようにする。</p>	
2 点画の筆使い 【花】	<p>○点画の筆使いを確かめることができる。</p> <p>○点画の筆使いに気をつけて、字形を整えて書くことができる。</p> <p>○点画の書き方を確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。</p>	<p>○『花』を硬筆や毛筆で試書する。</p> <p>○試書と教材文字を比べて、気をつけることを見つける。</p> <p>○片仮名の「ヒ」との違いや点画の書き方に気をつけて、「花」を書く。</p> <p>○『花』を硬筆や毛筆でまとも書きする。</p> <p>○めあてに気をつけて書けたところを話し合う。</p> <p>○目標に沿って、自己評価をする。</p> <p>○巻末漢字表などから筆使いと点画の書き方に気をつける漢字を探して書く。</p>	<p>B：点画の筆使いについて理解している。</p> <p>点画の筆使いに気をつけて書いている。</p> <p>A：点画の筆使いについてよく理解し、字形を把握している。</p> <p>点画の筆使いに気をつけて、字形を整えて書いている。</p> <p>支援：ほかの文字の例を見ることによって、点画の筆使いを確かめられるようにする。</p> <p>それぞれの課題解決ができるような練習用紙を使って、書きにくい部分が解決できるようになったらかける。</p>	<p>B：点画の筆使いについて考えている。</p> <p>A：点画の筆使いの良さしを考えている。</p> <p>支援：穂先の向きと穂先の通り道はどうなっているか説明できるようにする。</p> <p>空書することで、それぞれの筆使いを確かめるようにする。</p>	<p>B：点画の筆使いに気をつけて書こうとしている。</p> <p>ほかの文字の筆使いを参考にしている。</p> <p>A：点画の筆使いに気をつけて書こうとしている。</p> <p>支援：水書版などを使って、「はらい」「曲がり」などの筆使いを確かめられるようにする。</p>	
【レッツ・トライ】 発表しよう 一学習内ようをまとめる	<p>○横書きの書き方（行頭のそろえ方、字間、行間）を理解して、配列に気をつけて書くことができる。</p> <p>○他教科の学習の中で、配列に気をつけて書くこととする意欲をもつことができる。</p>	<p>○読み手に内容がよく伝わる発表資料にするにはどうしたらよいか話し合う。</p> <p>○横書きで読みやすく書くためのポイントを理解する。</p> <p>○基準に気をつけて、練習用紙に練習する。</p> <p>○まとも書きをする。</p>	<p>B：横書きの書き方と配列について理解している。</p> <p>横書きの書き方を理解して、配列に気をつけて書いている。</p> <p>A：横書きの書き方をよく理解して、配列の整え方について把握している。</p> <p>横書きの書き方を理解して、配列よく書いている。</p> <p>支援：箇条書きを書く際に行頭のあげ方や字間など、具体的な視点をあげて呼びかける。</p> <p>補助線を引いて、配列を確かめられるようにする。</p>	<p>B：読み手に内容がよく伝わる発表資料の作成方法について話し合っている。</p> <p>A：読み手に内容がよく伝わる発表資料の作成方法について、積極的に話し合っている。</p> <p>支援：どのように書いたら相手に伝わりやすいか、具体的な場面について投げかけるようにする。</p>	<p>B：書写以外の学習でも、相手意識をもって配列に気を配っている。</p> <p>A：書写以外の学習でも、相手意識をもって配列に気を配っている。</p> <p>支援：書写で学習した内容を、他教科で生かしていく学習であることを伝える。</p>	
3 筆順と字形 【左右】	<p>○筆順と字形の関係を理解することができる。</p> <p>○筆順に気をつけて、字形を整えて書くことができる。</p> <p>○筆順と字形を確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。</p>	<p>○『左右』を硬筆や毛筆で試書する。</p> <p>○試書と教材文字を比べて話し合う。</p> <p>○正しい筆順と点画の長さの違いを確認し、「左右」を書く。</p> <p>○『左右』を硬筆や毛筆でまとも書きする。</p> <p>○めあてに気をつけて書けたところを話し合う。</p> <p>○目標に沿って、自己評価をする。</p> <p>○巻末漢字表などから筆順と字形に気をつける漢字を探して書く。</p>	<p>B：筆順と字形との関係について理解している。</p> <p>筆順と字形に気をつけて書いている。</p> <p>A：筆順と字形との関係についてよく理解し、字形の整え方を把握している。</p> <p>正しい筆順で、字形を整えて書いている。</p> <p>支援：ほかの文字の例を見ることによって、筆順と字形の関係を確かめられるようにする。</p> <p>筆の長さや外形について、具体的に説明できるようにする。</p>	<p>B：筆順と字形との関係について考えている。</p> <p>A：筆順と字形との関係について、よく考えている。</p> <p>支援：分解文字などを使って、筆順と字形を確かめられるようにする。</p>	<p>B：筆順と字形に気をつけて書こうとしている。</p> <p>A：筆順と字形に気をつけて書こうとしている。</p> <p>支援：字源を説明することで、筆順と字形に対する関心を高められるようにする。</p>	

<p>くこう筆の学習 筆順と字形</p>	<p>3~4</p> <p>○筆順の原則を理解することができる。</p> <p>○筆順に気をつけて、硬筆で字形を整えて書くことができる。</p>	<p>○筆順の大ききままりと、その他のきままりを確かめて、教科書の教材文字を書く。</p> <p>○試書と教材文字を比べて話し合う。</p> <p>○正しい筆順と筆順の原則を理解する。</p> <p>○筆順に気をつけて、教科書にある教材文字を書く。</p> <p>○筆順を振りやすい『兆』『機』『飛』『成』を書く。</p> <p>○筆順と字形に気をつけてまとめ書きをする。</p>	<p>B: 筆順の原則について理解している。筆順と字形に気をつけて書いている。</p> <p>A: 筆順の原則についてよく理解し、字形の整え方を把握している。正しい筆順で、字形を整えて書いている。</p> <p>支援: いろいろな文字の例にあてはめて考えることによって、筆順と字形の関係を確かめられるようにする。筆順が確かめられるようにする。</p>	<p>B: 筆順の原則について考えている。</p> <p>A: 筆順の原則についてよく考えている。なぜ筆順どおりに書くことが大切なのか、考えている。</p> <p>支援: 教科書の図版などを使って、筆順の原則が確かめられるようにする。</p>	<p>B: 筆順と字形に気をつけて、硬筆で書こうとしている。呼びの書き</p> <p>A: 筆順と字形に気をつけて、字形を整えて硬筆で書こうとしている。</p> <p>支援: 文字の中のどの部分に筆順の原則が使われているか説明すること、筆</p>
<p>4 ひらがなの筆使い 『はす』</p>	<p>2</p> <p>○「結び」の筆使いを理解することができる。</p> <p>○「結び」の筆使いや形の違いに気をつけて書くことができる。</p> <p>○「結び」の形の違いを確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。</p>	<p>○硬筆と毛筆で『はす』を試書する。</p> <p>○試書と教材文字を比べて話し合う。</p> <p>○「結び」の筆使いや字形、穂先の動きを確認し、練習する。</p> <p>○『はす』をまとめ書きする。</p> <p>○めあてに気をつけて書けたところを話し合う。</p> <p>○目標に沿って、自己評価をする。</p> <p>○巻末の「ひらがな表」などから、字形に気をつける文字を探して書く。</p>	<p>B: 「結び」の筆使いについて理解している。「結び」の筆使いに気をつけて書いている。</p> <p>A: 横の「結び」と縦の「結び」の筆使いの違いや字形について、よく理解している。「結び」の筆使いに気をつけて、字形を整えて書いている。</p> <p>支援: 拡大文字などを使って、筆使いや形の視覚的に確かめられるようにする。教科書の図版を参照しながら縦の結びと横の結びの違いについて説明し、理解できるようにする。</p>	<p>B: 「結び」の筆使いについて考えている。</p> <p>A: 「結び」の筆使いの良さしあしを考えている。</p> <p>支援: 朱墨や薄墨を使って、穂先の向きや運び道が確かめられるようにする。</p>	<p>B: 「結び」の筆使いに気をつけて書こうとしている。</p> <p>A: 「結び」の筆使いに気をつけて、字形を整えて書こうとしている。</p> <p>支援: 拡大文字などを使って、「結び」の筆使いや形の違いに気をつけるよう呼び</p>
<p>【レック・トライ】 ノート 理科のノート</p>	<p>1</p> <p>○学習内容が理解しやすいノートのまとめ方を理解することができる。</p> <p>○書写で学習した内容を、他教科での学習に生かしていく意識をもち、工夫して書こうとすることができる。</p>	<p>○学級内でまとめ方がわかりやすいノートの例を数点用意して、工夫されている点を話し合う。</p> <p>○話し合った内容を発表し、学級で共有する。</p> <p>○学習したことを生かして、次時のノートをとる。</p>	<p>B: 学習内容が理解しやすいノートのまとめ方についてよく理解している。学習内容が理解しやすいように工夫してノートをまとめている。</p> <p>A: 学習内容が理解しやすいノートのまとめ方について、よく理解している。よく工夫してノートをまとめている。</p> <p>支援: 箇条書きで書く際の行頭のあげ方や余白のとり方など、具体的な視点をあげて呼びかける。自分の普段のノートを見直して、わかりにくい点はないか確かめるようにする。</p>	<p>B: 学習内容が理解しやすいノートのまとめ方について考えている。</p> <p>A: 学習内容が理解しやすいノートのまとめ方について、よく考えている。</p> <p>支援: どのように書いたら内容が理解しやすいか、具体的な書き方について例示するようにする。</p>	<p>B: 書写で学習した内容を、他教科での学習に生かしていく意識をもち、工夫して書こうと</p> <p>A: 書写で学習した内容を、他教科での学習に生かし、積極的に書</p> <p>支援: 書写で学習した内容を、他教科での学習に生かし、積極的に書</p>
<p>【レック・トライ】 はがき 一枚い老の日はがき</p>	<p>1</p> <p>○はがきの形式を理解し、相手意識をもつて丁寧に書くことができる。</p> <p>○文字の大きさや行の中心に気をつけて書くことができる。</p>	<p>○はがきを書く時の手順を教科書で確認する。</p> <p>○はがきの形式を理解する。</p> <p>○教科書を見て文字の大きさや行の中心はどのくらいか話し合う。</p> <p>○都道府県の書方を知り、練習する。</p> <p>○はがきの裏面の書き方を知る。</p> <p>○メモをもとにはがきを書いてみる。</p> <p>○学習したことができて自己評価する。</p>	<p>B: 文字の大きさや行の中心の揃え方について理解している。はがきの形式に従って、文字の大きさに気をつけて書いている。</p> <p>A: 文字の大きさや行の中心の揃え方についてよく理解している。はがきの形式に従って、文字の大きさや行の中心に気をつけて書いている。</p> <p>支援: 教科書の紙面を参照しながら、はがきの形式について確かめられるようにする。はがきに対して文字が大きすぎたり小さすぎたりするように、教科書を見ながら確かめられるようにする。</p>	<p>B: はがきの形式に従って丁寧に書く方法について考えている。</p> <p>A: はがきの書式に従って、文字の大きさや行の中心を整えて書く方法について考えている。</p> <p>支援: 相手の名前を上位置に書くことや、はがきの中央に大きく書くのは、相手を取るか気持ちが表れていることを説明する。</p>	<p>B: はがきの形式を理解し、丁寧に書くこと</p> <p>A: はがきの形式を理解し、相手意識をもつて丁寧に書</p> <p>支援: 実際のはがきの例を参照することで関心を高めるようにす</p>
<p>5 文字の組み立て方 (左右) 『林』</p>	<p>2</p> <p>○「へん」と「つくり」の幅の違いと点画の形の変化を理解することができる。</p> <p>○「へん」と「つくり」の組み立て方に気をつけて、字形を整えて書くことができる。</p> <p>○「へん」の幅と点画の形を確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。</p>	<p>○『林』を硬筆や毛筆で試書する。</p> <p>○試書と教材文字を比べて話し合う。</p> <p>○「へん」と「つくり」の組み立て方について確認し、練習する。</p> <p>○『林』を硬筆や毛筆でまとめ書きする。</p> <p>○めあてに気をつけて書けたところを話し合う。</p> <p>○目標に沿って、自己評価をする。</p> <p>○巻末漢字表などから左右の組み立て方に気をつける漢字を探して書く。</p>	<p>B: 「へん」と「つくり」の幅の違いと点画の形の変化について理解している。「へん」と「つくり」の組み立て方に気をつけて書いている。</p> <p>A: 「へん」と「つくり」の幅の違いと点画の形の変化についてよく理解し、字形を把握している。「へん」と「つくり」の組み立て方に気をつけて、字形を整えて書いている。</p> <p>支援: ほかの文字の例を見ることによって、点画のゆずり合いを比べてみることで確認できるようにする。</p>	<p>B: 「へん」と「つくり」の組み立て方について考えている。</p> <p>A: 「へん」と「つくり」の組み立て方の良さしあしを考えている。</p> <p>支援: 拡大文字などを使って、文字の組み立て方が確かめられるようにする。</p>	<p>B: 「へん」と「つくり」の組み立て方に気をつけて書こうとし</p> <p>A: 「へん」と「つくり」の組み立て方に気をつけて、字形を整えて書</p> <p>支援: 「へん」と「つくり」の組み立て方に気をつけて書</p>
<p>6 文字の組み立て方 (上下) 『苗』</p>	<p>2</p> <p>○上の部分の形の変化を理解することができる。</p> <p>○上下の組み立て方に気をつけて、字形を整えて書くことができる。</p> <p>○上下の組み立て方を確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。</p>	<p>○『苗』を硬筆や毛筆で試書する。</p> <p>○試書と教材文字を比べて話し合う。</p> <p>○『苗』を硬筆や毛筆でまとめ書きする。</p> <p>○めあてに気をつけて書けたところを話し合う。</p> <p>○目標に沿って、自己評価をする。</p> <p>○巻末漢字表などから上下の組み立て方に気をつける漢字を探して書く。</p>	<p>B: 上の部分と下の部分の高さの違いと点画の形の変化について理解している。上下の組み立て方に気をつけて書いている。</p> <p>A: 上の部分と下の部分の高さの違いと点画の形の変化についてよく理解し、字形を把握している。上下の組み立て方に気をつけて、字形を整えて書いている。</p> <p>支援: ほかの文字の例を見ることによって、点画のゆずり合いを比べてみることで確認できるようにする。</p>	<p>B: 上下の組み立て方について考えている。</p> <p>A: 上下の組み立て方の良さしあしを考えている。</p> <p>支援: 拡大文字などを使って、文字の組み立て方が確かめられるようにする。</p>	<p>B: 「へん」と「つくり」の組み立て方に気をつけて書こうとし</p> <p>A: 「へん」と「つくり」の組み立て方に気をつけて、字形を整えて書</p> <p>支援: 学習した以外の文字でも、文字の組み立て方に気</p>
<p>7 文字の組み立て方 (遷たく) ①左右の組み立て方『土地』 ②上下の組み立て方『岩山』</p>	<p>○自分のめあてを設定し、めあてに合わせた教材を選択し、意欲をもって書くことができる。</p> <p>○左右・上下の組み立て方(幅や高さのとり方)を理解して、字形を整えて書くことができる。</p> <p>○左右・上下の組み立て方を確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。</p>	<p>○『土地』か『岩山』を硬筆や毛筆で試書する。</p> <p>○試書と教材文字を比べて話し合う。</p> <p>○幅や高さ、形の変化について確認し、課題別に練習する。</p> <p>○自分の選んだ教材文字をまとめ書きする。</p> <p>○目標に沿って、自己評価をする。</p>	<p>B: 左右・上下の組み立て方(幅や高さのとり方)を理解している。左右・上下の組み立て方に気をつけて書いている。</p> <p>A: 左右・上下の組み立て方(幅や高さのとり方)を理解し、字形を把握している。左右・上下の組み立て方に気をつけて、字形を整えて書いている。</p> <p>支援: 点画のゆずり合いや、自分の課題が視覚的に確かめられるようにする。点画のゆずり合いが確認できるようにする。</p>	<p>B: 自分のめあてに合った教材を選択している。幅や高さ、形がどう変わっているか、考えている。</p> <p>A: 自分のめあてに合った教材を、適切に選択し、字形を把握している。幅や高さ、形がどう変わっているか、よく考</p> <p>支援: それぞれの教材文字は、幅や高さ、形がどう変わっているのか、同じ課題の友達と考えることができるようにする。</p>	<p>B: 自分のめあてを設定し、めあてに合わせた教材を選択し、意欲</p> <p>A: 自分のめあてを設定し、めあてに合わせた教材を選択し、意欲</p> <p>支援: 自分の課題はどのようなどころにあるか、前時を振り返り確かめられる</p>

<p>【こう筆の学習】 文字の組み立て方</p>	<p>6~6</p> <p>○左右・上下の組み立て方と点画の変化について理解することができる。</p> <p>○左右・上下の組み立て方と点画の変化に気をつけて、硬筆で字形を整えて書くことができる。</p> <p>○左右・上下の組み立て方で構成される漢字の点画の変化を見つけて活動について、意欲的に取り組むことができる。</p>	<p>○『説』『湖』『龍』を、組み立て方に気をつけながら試書する。</p> <p>○それぞれの組み立て方がどのようなものか考え、教科書を見て基準を確認する。</p> <p>○基準に気をつけて練習する。</p> <p>○文字の組み立て方に気をつけて、まとめ書きをする。</p> <p>○総学習表から、左右・上下の組み立て方で構成されている漢字を探す。</p>	<p>B：左右の幅の違い、上下の高さの違いと点画の変化について理解している。</p> <p>左右・上下の組み立て方と点画の変化に気をつけて書いている。</p> <p>A：左右・上下の組み立て方と点画の変化についてよく理解し、字形を把握している。</p> <p>左右・上下の組み立て方と点画の変化に気をつけて、字形を整えて書いている。</p> <p>支援：拡大文字や分解文字などを使って、組み立て方と点画の変化が視覚的に理解できるようにする。</p>	<p>B：左右の幅、上下の高さ、点画の変化について考えている。</p> <p>A：左右・上下の組み立て方、点画の変化の良しあしを考えている。</p> <p>支援：漢字の構成要素を使って、組み立て方や幅、点画の変化が確かめられるようにする。</p> <p>支援：漢字の構成要素を使って、組み立て方や幅、点画の変化が確かめられるようにする。</p> <p>B：文字の大きさと配列について考えている。</p> <p>A：文字の大きさと配列について、よく考えている。</p> <p>支援：漢字の構成要素を使って、組み立て方や幅、点画の変化が確かめられるようにする。</p>
<p>【レッツ・トライ】 文化 一短歌</p>	<p>1</p> <p>○文字の大きさと配列について理解することができる。</p> <p>○文字の大きさと行の中心に気をつけて、配列を整えて書くことができる。</p>	<p>○教科書の短歌・俳句を鉛筆で書く。</p> <p>○縦書きで配列を整えて書くための基準を理解する。</p> <p>○練習用紙を選択し、文字の大きさと行の中心に気をつけて練習する。</p> <p>○試書と比べて評価する。</p> <p>○ほかの俳句や短歌でも、配列を整えて書くことと読みやすいことを知る。</p>	<p>B：文字の大きさと配列について理解している。</p> <p>文字の大きさと配列に気をつけて書いている。</p> <p>A：文字の大きさと配列についてよく理解し、字形を把握している。</p> <p>文字の大きさと配列に気をつけて、字形を整えて書いている。</p> <p>支援：文字の外形を囲むことで、文字の大きさが視覚的に確かめられるようにする。</p> <p>中心線などの補助線を引いて、配列を確かめられるようにする。</p>	<p>B：文字の大きさと配列について考えている。</p> <p>A：文字の大きさと配列について、よく考えている。</p> <p>支援：試書と教材文字とを比較して、自分の課題がわかるようにする。</p> <p>B：文字の大きさと配列について考えている。</p> <p>A：文字の大きさと配列について、よく考えている。</p> <p>支援：試書と教材文字とを比較して、自分の課題がわかるようにする。</p>
<p>書きぞめ 『元気』</p> <p>『美しい空』</p>	<p>3~4</p> <p>○床の上や立って書くときの姿勢、筆の持ち方に気をつけて、これまでの学習を生かして書くことができる。</p> <p>○文字の大きさと中心に気をつけて、字形を整えて書くことができる。</p>	<p>○『元気』（または『美しい空』）を試書する。</p> <p>○姿勢や筆の持ち方を確認する。</p> <p>○書きぞめの姿勢を知る。</p> <p>○試書と教材文字を比べ、基準を理解する。</p> <p>○基本点画に気をつけて練習する。</p> <p>○試書とまとめ書きを比べ、自己評価する。</p>	<p>B：書きぞめの姿勢や持ち方、筆使いについて理解している。</p> <p>これまで学習した筆使いや文字の大きさに気をつけて書いている。</p> <p>A：書きぞめの姿勢や持ち方、筆使いについてよく理解している。</p> <p>これまで学習した筆使いや文字の大きさに気をつけて、字形を整えて書いている。</p> <p>支援：今まで学習した筆使いについて、点画の名称を確認しながら理解できるようにする。</p> <p>書きぞめ用紙を縦半分に折り、中心を意識できるようにする。</p> <p>外形を考えると、文字の大きさについて確かめられるようにする。</p>	<p>B：書きぞめの姿勢や筆の持ち方について考えている。</p> <p>A：書きぞめの姿勢や筆の持ち方の良しあしを考えている。</p> <p>支援：姿勢図や筆の持ち方の図版などを使って、確かめられるようにする。</p> <p>B：書きぞめの姿勢や筆の持ち方について考えている。</p> <p>A：書きぞめの姿勢や筆の持ち方の良しあしを考えている。</p> <p>支援：姿勢図や筆の持ち方の図版などを使って、確かめられるようにする。</p>
<p>【知りたい 文字の世界】 さまざまなかな</p>	<p>満時</p> <p>○さまざまなかなについて知り、文字に対する興味・関心を高めることができる。</p>	<p>○自分が住む地域のかたや、さまざまなかなについて調べる。</p> <p>○かたの特徴など、気がついたことを話し合う。</p> <p>○話し合ったことを発表する。</p>	<p>B：読みやすい文字の大きさや配列を理解している。</p> <p>読みやすい文字の大きさや配列に気をつけて防災かるたを書いている。</p> <p>A：読みやすい文字の大きさや配列についてよく理解している。</p> <p>文字の大きさや配列を整えて、防災かるたを書いている。</p> <p>支援：行が曲ってしまう場合は鉛筆で書く中心線を書いたり、文字を書く位置に丸で印をつけたりするよう呼びかける。</p>	<p>B：読みやすい文字の大きさや配列について考えている。</p> <p>A：読みやすい文字の大きさや配列についてよく考えている。</p> <p>支援：平仮名は漢字よりやや小さく書くことなどを、具体的に説明する。</p>
<p>【レッツ・トライ】 かるた 一ぼうさいかるたを作る</p>	<p>1</p> <p>○これまで学習した内容を生かして、ぼうさいかるたの文字を書くことができる。</p> <p>○用紙全体に対する文字の大きさや配列を考えて書くことができる。</p>	<p>○本時の目標を知る。</p> <p>○ワークシートに防災かるたの文章を考えて記入する。</p> <p>○教科書を見ながら、読みやすい文字の大きさや配列を考えて下書きをする。</p> <p>○自分のめあてを把握し、課題解決に向けて練習する。</p> <p>○かるたの用紙に書き、防災かるたを完成させる。</p> <p>○自己評価シートを記入し、自己評価する。</p>	<p>B：読みやすい文字の大きさや配列を理解している。</p> <p>読みやすい文字の大きさや配列に気をつけて防災かるたを書いている。</p> <p>A：読みやすい文字の大きさや配列についてよく理解している。</p> <p>文字の大きさや配列を整えて、防災かるたを書いている。</p> <p>支援：行が曲ってしまう場合は鉛筆で書く中心線を書いたり、文字を書く位置に丸で印をつけたりするよう呼びかける。</p>	<p>B：文字の大きさと配列について考えている。</p> <p>A：文字の大きさと配列についてよく考えている。</p> <p>支援：平仮名は漢字よりやや小さく書くことなどを、具体的に説明する。</p>
<p>8 学習のまとめ『平和』</p>	<p>4~5</p> <p>○これまで学習したことを生かして、自分のめあてを選んで、意欲をもって書くことができる。</p> <p>○自分の選んだめあてに気をつけて書くことができる。</p> <p>○学習したことを生かして、硬筆で書いて確かめることができる。</p>	<p>○『平和』を硬筆や毛筆で試書する。</p> <p>○これまで学習したことの中から自分のめあてを選ぶ。</p> <p>○左右の組み立て方や、「左はらい」の方向の違いを理解する。</p> <p>○自分のめあてに向かって練習する。</p> <p>○『平和』を硬筆や毛筆でまとめ書きし、試書と比べて達成度を話し合う。</p> <p>○自分のめあてが達成できなかった場合は、既習事項を振り返る。（毛筆）</p> <p>○縦書きの用紙に『ごんぎつね』の一部を試書する。</p> <p>○中心に線を書いて自己修正する。</p> <p>○文字の大きさや配列に気をつけて、まとめ書きをする。（硬筆）</p>	<p>B：これまで学習した字形の整え方について理解している。</p> <p>これまで学習したことを生かして、字形の整え方に気をつけて書いている。</p> <p>A：これまで学習した字形の整え方についてよく理解している。</p> <p>これまで学習したことを生かして、字形を整えて書いている。</p> <p>支援：1年間の学習内容や成果が確かめられるようにする。</p> <p>字形の整え方の要点や筆使いなどを具体的に示すようにする。</p>	<p>B：これまで学習したことを生かして、自分のめあてを選んでいる。</p> <p>A：これまで学習したことを生かして、自分のめあてを適切に選んでいる。</p> <p>支援：教材文字と比べて修正することで、自分のめあてが実現されるように支援する。</p>
<p>【知っておこう】 手紙 一学習発表会の案内の手紙</p>	<p>○手紙の形式を理解し、文字の大きさや行の中心に気をつけて書くことができる。</p>	<p>○教科書を見て、手紙の書き方と封筒の書き方について確かめる。</p>	<p>B：手紙の書き方について理解している。</p> <p>A：手紙の書き方について、よく理解している。</p>	<p>B：手紙の書き方について理解している。</p> <p>A：手紙の書き方について、よく理解している。</p>

				<p>支援：教科書の紙面を参照しながら、手紙の書式について確かめられるようにする。</p> <p>封筒に対して文字が大きすぎたり小さすぎたりするように、教科書を見ながら確かめられるようにする。</p>	
【書いて 伝え合おう】 新聞 一学期新聞を作ろう	<p>○書写で学習した内容を、他教科での学習や日常生活にも生かしていく意欲をもつことができる。</p>	<p>○教科書の例を見て、読みやすい紙面構成の工夫を話し合い、記事の位置と大きさを決める。</p> <p>○今まで学習したことを振り返り、文字の大きさや配列について想起する。</p> <p>○記事の下書きをする。</p> <p>○筆記用具の効果について話し合い、適切な筆記用具を選択する。</p> <p>○新聞を作成する。</p>	<p>B：読みやすく書くための基準について理解している。</p> <p>文字の大きさや配列に注意したり、筆記用具を工夫したりしている。</p> <p>A：読みやすく書くための基準について、よく理解している。</p> <p>文字の大きさや配列に注意したり、筆記用具を工夫したりして、読みやすく書き表している。</p> <p>支援：配列は整っているか、筆記用具は効果的に使われているかなど、具体的な投げかけをする。</p> <p>鉛筆で下書きをすることで、文字の大きさや配列のめやすになるようにする。</p>	<p>B：読みやすく書くための基準を意識して、新聞を見直している。</p> <p>A：読みやすく書くための基準を意識して、新聞を見直したり工夫したりしている。</p> <p>支援：読みやすく書くための基準について確認められるようにする。</p>	<p>B：書写で学習した内容を、他教科での学習や日常生活にも生かしていく意欲をもつことができる。</p> <p>A：書写で学習した内容を、他教科での学習や日常生活にも生かしていく意欲をもつことができる。</p> <p>支援：読みやすい見出し物の例などを具体的に例示する。書写の授業以外でも、相手の読み</p>
【知っておこう】 メモ 一学期見学の聞き取りメモ	<p>○書写で学習した内容を、他教科での学習や日常生活にも生かしていく意欲をもつことができる。</p>	<p>○教科書を見て、メモを取るとき書き方について確かめる。</p>	<p>B：メモの取り方について理解している。</p> <p>A：メモの取り方について、よく理解している。</p> <p>支援：教科書の紙面を参照しながら、メモの取り方について確かめられるようにする。</p>		
【漢字表】 四年生で学習する漢字 三年生で学習した漢字	<p>○3年生で学習した字形の整え方、筆順などを確かめることができる。</p> <p>○4年生で学習した字形の整え方、筆順などを確かめることができる。</p> <p>○巻末漢字表を活用した漢字の仲間分けの活動を行ったり、筆順をまちがえやすい漢字について確かめたりすることができる。</p>	<p>○筆順のましまりを確認する。</p> <p>○筆順に気を付ける漢字を正しい筆順で書く。</p> <p>○文字の組み立て方の観点から、巻末漢字表の文字を分類し、印を書き込む。</p> <p>○友達と見せ合い、正しく書けたか相互評価する。</p>	<p>B：同じ点画をもつ漢字、同じ組み立て方をもつ漢字など、漢字の仲間分けについて理解している。</p> <p>同じ点画をもつ漢字、同じ組み立て方をもつ漢字など、漢字の仲間分けをしている。</p> <p>A：同じ点画をもつ漢字、同じ組み立て方をもつ漢字など、漢字の仲間分けについてよく理解している。</p> <p>同じ点画をもつ漢字、同じ組み立て方をもつ漢字など、漢字を正しく仲間分けしている。</p> <p>支援：これまで学習した基本、点画などの内容を振り返り、確かめられるようにする。どの文字のどの部分に着目して探るか、具体的に説明する。</p>	<p>B：これまで学習した字形の整え方、筆順について考えている。</p> <p>同じ点画をもつ漢字、同じ組み立て方をもつ漢字など、漢字の仲間分けについて考えている。</p> <p>A：これまで学習した字形の整え方、筆順についてよく考えている。</p> <p>同じ点画をもつ漢字、同じ組み立て方をもつ漢字など、漢字の仲間分けについて判断している。</p> <p>支援：教科書紙面を使って、正しい筆順や字形の整え方などが確かめられるようにする。どの文字のどの部分に着目して探るか、具体的に説明する。</p>	<p>B：巻末漢字表を使った漢字の仲間分けの活動や、漢字の成り立ちについて、関心を高め、進んで取り組もうとしている。</p> <p>A：巻末漢字表を使った漢字の仲間分けの活動や、漢字の成り立ちについて関心を高め、進んで取り組もうとしている。</p> <p>支援：巻末漢字表の使い方について確かめられるようにする。書写の授業</p>
【ひらがな表】 【かたかな表】 【筆記用具の特ちょう】	<p>○平仮名、片仮名の筆順や字形を確かめることができる。</p>	<p>○「ひらがな表」「かたかな表」を見て、平仮名と片仮名の筆順や字形を確認する。</p> <p>○字形がうまくとれない文字について、重点的に練習する。</p>	<p>B：平仮名、片仮名の筆順や字形について理解している。</p> <p>A：平仮名、片仮名の筆順や字形について、よく理解している。</p> <p>支援：ふだん、字形を整えにくい文字に関し、教科書を見ながら確認できるようにする。</p>		<p>B：平仮名、片仮名の筆順や字形を確かめている。常に平仮名。</p> <p>A：平仮名、片仮名の筆順や字形を、積極的に確かめている。常に平仮名。</p> <p>支援：まちがえやすい筆順について、重点的に確かめられるようにする。</p>

教科	書写	学年	第6学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元到達目標	学習活動	評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体性・学習に取組む態度
文字の流		<p>○日本の文字の歴史について知り、興味・関心を高めることができる。</p>	<p>○「文字の流」を読み、知っていることや興味をもったことを話し合い、日本の文字の歴史を知る。</p>	<p>B：日本の文字の歴史について知っている。</p> <p>A：日本の文字の歴史について理解している。</p> <p>支援：これから社会科で学習する内容と関連付けて説明できるようにする。</p> <p>話し合いの観点として、文字の歴史に関する知識について知っていることがあるか、問いかけるようにする。</p>	<p>B：文字が日本に伝わって現代に至るまでの流れについて考えている。</p> <p>A：文字が日本に伝わって現代に至るまでの流れについて、よく考えている。</p> <p>支援：教科書紙面を見ながら、全体の流れについて確かめられるようにする。</p>	<p>B：日本の文字の歴史について関心をもち、</p> <p>A：日本の文字の歴史について関心をもち、</p> <p>支援：教科書の図版について、見たことのあるものがあるか問いかける。</p>
六年生で学習すること 目次	2	<p>○1年間の学習内容や学習の進め方について確認し、書写学習に対する意欲をもつことができる。</p>	<p>○教科書を参照して、学習のめあてを知る。</p> <p>○1年間の学習内容を知る。</p>	<p>B：1年間のめあてや学習内容について知っている。</p> <p>A：1年間のめあてや学習内容について理解している。</p> <p>支援：前学年で学習した内容をふまえながら説明する。</p>		<p>B：1年間の学習内容を知り、書写学習に対する意欲をもっている。</p> <p>A：1年間の学習内容を知り、進んで書写学習に取り組んでいる。</p> <p>支援：教科書紙面を参照しながら、1年間の学習内容と、学習し</p>

「支援」は、「B」に達しない児童に対する支援・援助の方法

<p>1 はじめの学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ■学習の進め方 ■点画の種類 ■姿勢と持ち方、用具のあつかい方 	<p>○用具の並べ方や扱い方について確かめることができる。</p> <p>○よい姿勢や筆の持ち方について確かめることができる。</p> <p>○常により姿勢やよい持ち方を意識して書くことができる。</p>	<p>○姿勢図を見て、用具の置き方、正しい姿勢、用具の持ち方を確かめる。</p> <p>○教科書の紙面を参照しながら、「点画の種類」と筆圧のかけ方について理解する。</p> <p>○ワークシートを活用して、「点画の種類」を書く。</p> <p>○自分の課題を見つけて練習する。</p> <p>○自分の課題とした「点画の種類」をまとめて書きする。</p> <p>○後片づけの仕方を確かめる。</p>	<p>○用具の扱い方や姿勢、筆の持ち方、筆の扱い方を理解している。</p> <p>○用具の扱い方や姿勢、筆の持ち方が身につけている。</p> <p>○これまでに学習した「筆圧」や「点画の種類」について理解している。</p>	<p>○用具の扱い方や姿勢、筆の持ち方、筆の扱い方の良さや筆圧について考えている。</p> <p>○用具の扱い方や姿勢、筆の持ち方、筆の扱い方の良さや筆圧について、よく考えている。</p>	<p>○用具の扱い方や姿勢、筆の持ち方、筆の扱い方の良さや筆圧について、よく考えている。</p> <p>○用具の扱い方や姿勢、筆の持ち方、筆の扱い方の良さや筆圧について、よく考えている。</p> <p>○用具の扱い方や姿勢、筆の持ち方、筆の扱い方の良さや筆圧について、よく考えている。</p>
<p>2 文字の大きさと配列</p> <p>【歩む】</p>	<p>○文字の大きさと配列を理解することができる。</p> <p>○文字の大きさと配列に気をつけて、字形を整えて書くことができる。</p> <p>○文字の大きさと配列を確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。</p>	<p>○『歩む』を硬筆や毛筆で試書する。</p> <p>○試書と教材文字を比べて話し合う。</p> <p>○漢字と仮名の形や大きさの違いと配列の整え方について確認し、練習する。</p> <p>○『歩む』を硬筆や毛筆でまとめて書きする。</p> <p>○めあてに気をつけて書けたところを話し合う。</p> <p>○目標に沿って、自己評価をする。</p> <p>○巻末漢字表などを見ながら、漢字と仮名を組み合わせた言葉を作って書く。</p>	<p>○用紙に対する文字の大きさと配列について理解している。</p> <p>○用紙に対する文字の大きさと配列に気をつけて書いている。</p> <p>○用紙に対する文字の大きさと配列について、よく理解している。</p> <p>○用紙に対する適切な文字の大きさと、文字の中心の位置について理解している。</p>	<p>○用紙に対する文字の適切な大きさと配列について考えている。</p> <p>○用紙に対する適切な文字の大きさと配列について、よく考えている。</p>	<p>○用紙に対する文字の適切な大きさと配列について、よく考えている。</p> <p>○用紙に対する適切な文字の大きさと配列について、よく考えている。</p> <p>○用紙に対する適切な文字の大きさと配列について、よく考えている。</p>
<p>【レッツ・トライ】</p> <p>メモ</p> <p>話し合いメモ</p>	<p>○目的にふさわしい書く速さについて理解することができる。</p> <p>○許容される書き方について知り、関心をもつことができる。</p>	<p>○書く場面について具体例をあげて、目的に応じてどのような速さで書けばよいか話し合う。</p> <p>○限られた時間のなかでメモを取るときの手順を話し合う。</p> <p>○許容される書き方について知る。</p> <p>○許容される書き方で、実際に書いてみる。</p>	<p>○目的に応じた書き方について理解している。</p> <p>○許容される書き方について知っている。</p> <p>○目的に応じた書き方について、よく理解している。</p> <p>○許容される書き方について理解している。</p>	<p>○さまざまな場面に適した書き方について、話し合っている。</p> <p>○さまざまな場面に適した書き方について、積極的に話し合っている。</p>	<p>○メモの取り方を知り、他教科での学習活動や日常生活に積極的に生かしている。</p> <p>○メモの取り方を知り、他教科での学習活動や日常生活に積極的に生かしている。</p> <p>○メモの取り方を知り、他教科での学習活動や日常生活に積極的に生かしている。</p>
<p>3 文字の組み立て方（三つの部分）</p> <p>【湖】</p>	<p>○三つの部分の組み立て方を理解することができる。</p> <p>○三つの部分の組み立て方に気をつけて、字形を整えて書くことができる。</p> <p>○三つの部分の組み立て方を確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。</p>	<p>○『湖』を硬筆や毛筆で試書する。</p> <p>○試書と教材文字を比べて話し合う。</p> <p>○三つの部分の組み立て方について確認し、練習する。</p> <p>○『湖』を硬筆や毛筆でまとめて書きする。</p> <p>○めあてに気をつけて書けたところを話し合う。</p> <p>○目標に沿って、自己評価をする。</p> <p>○巻末漢字表などから三つの部分の組み立て方に気をつける漢字を限って書く。</p>	<p>○三つの部分の幅の違いと点画の形の変化について理解している。</p> <p>○三つの部分の組み立て方に気をつけて書いている。</p> <p>○三つの部分の幅の違いと点画の形の変化についてよく理解し、字形を把握している。</p> <p>○三つの部分の組み立て方に気をつけて、字形を整えて書いている。</p>	<p>○三つの部分の組み立て方について考えている。</p> <p>○三つの部分の組み立て方の良さや筆圧について、よく考えている。</p> <p>○三つの部分の組み立て方の良さや筆圧について、よく考えている。</p>	<p>○三つの部分の組み立て方について考えている。</p> <p>○三つの部分の組み立て方の良さや筆圧について、よく考えている。</p> <p>○三つの部分の組み立て方の良さや筆圧について、よく考えている。</p>
<p>（硬筆の学習）</p> <p>文字の組み立て方（左右、上下、中と外）</p>	<p>○左右、上下、中と外の組み立て方について理解することができる。</p> <p>○左右、上下、中と外の組み立て方に気をつけて、硬筆で字形を整えて書くことができる。</p>	<p>○左右、上下、中と外の組み立て方でできた教科書の教材文字を書く。</p> <p>○教科書の組み立て方の図を見ながら基準を理解する。</p> <p>○筆順と字形の関わりについても確認する。</p> <p>○左右、上下、中と外の組み立て方について練習用紙に練習する。</p> <p>○目標と基準を確認しながらまとめて書きをする。</p>	<p>○左右、上下、中と外の組み立て方について理解している。</p> <p>○左右、上下、中と外の組み立て方に気をつけて書いている。</p> <p>○左右、上下、中と外の組み立て方についてよく理解し、字形を把握している。</p> <p>○左右、上下、中と外の組み立て方に気をつけて、字形を整えて書いている。</p>	<p>○左右、上下、中と外の組み立て方について考えている。</p> <p>○左右、上下、中と外の組み立て方の良さや筆圧について、よく考えている。</p>	<p>○左右、上下、中と外の組み立て方について考えている。</p> <p>○左右、上下、中と外の組み立て方の良さや筆圧について、よく考えている。</p> <p>○左右、上下、中と外の組み立て方の良さや筆圧について、よく考えている。</p>
<p>【レッツ・トライ】</p> <p>ノート</p> <p>一語のノート</p>	<p>○学習内容が理解しやすいノートのまとめ方を理解することができる。</p> <p>○書きで学習した内容を、他教科での学習に生かしていく意欲をもち、工夫して書くことができる。</p>	<p>○学習内容が理解しやすいノートのまとめ方を教点用意して、工夫されている点を話し合う。</p> <p>○話し合った内容を発表し、学級で共有する。</p> <p>○学習したことを生かして、次時のノートをとる。</p>	<p>○学習内容が理解しやすいノートのまとめ方についてわかっている。</p> <p>○学習内容が理解しやすいように工夫してノートをまとめている。</p> <p>○学習内容が理解しやすいノートのまとめ方について、よく理解している。</p> <p>○学習内容が理解しやすいように工夫してノートをまとめている。</p>	<p>○学習内容が理解しやすいノートのまとめ方について考えている。</p> <p>○学習内容が理解しやすいノートのまとめ方について、よく考えている。</p>	<p>○学習内容が理解しやすいノートのまとめ方について考えている。</p> <p>○学習内容が理解しやすいノートのまとめ方について、よく考えている。</p> <p>○学習内容が理解しやすいノートのまとめ方について、よく考えている。</p>
<p>【レッツ・トライ】</p> <p>ノート</p> <p>一校外学習のリーフレット</p>	<p>○用紙全体に対する文字の大きさや余白のとり方に気をつけて、配列を整えて書くことができる。</p> <p>○読み手にわかりやすく効果的に伝えるための、筆記用具の工夫について理解することができる。</p>	<p>○必要事項を入れて、リーフレットの下の書き方を練習する。</p> <p>○教材例を見ながら基準を理解する。</p> <p>○折り方とレイアウトを考える。</p> <p>○書く目的に応じた筆記用具を選択する。</p> <p>○相手に内容が伝わりやすい表し方を考えて練習する。</p>	<p>○読みやすく書くための基準について理解している。</p> <p>○読みやすく書くための基準を確認し、自分のあてを設定している。</p> <p>○読みやすく書くための基準を確認し、自分のあてを設定している。</p> <p>○読みやすく書くための基準を確認し、自分のあてを設定している。</p>	<p>○読みやすく書くための基準を確認し、自分のあてを設定している。</p> <p>○読みやすく書くための基準を確認し、自分のあてを設定している。</p>	<p>○読みやすく書くための基準を確認し、自分のあてを設定している。</p> <p>○読みやすく書くための基準を確認し、自分のあてを設定している。</p> <p>○読みやすく書くための基準を確認し、自分のあてを設定している。</p>

	1	<p>○書写で学習した内容を、学校生活に生かしていく意欲をもち、丁寧に書くことができる。</p>	<p>○配置の補助線を引くなど工夫して、実際のリーフレットをまとめ書きする。 ○リーフレットを見せ合い、考えを深める。</p>	<p>A: 読みやすく書くための基準について、よく理解している。 文字の大きさ、行の中心、余白、行頭の位置に気をつけて、配列よく書いている。</p> <p>支援: 配列は整っているか、筆記用具は効果的に使われているかなど、具体的な投げかけをする。 鉛筆で下書きをすることで、文字の大きさや配列のめやすになるようにする。</p>	<p>A: 読みやすく書くための基準を確認し、自分のめあてを設定し、解決方法を選択している。</p> <p>支援: 読みやすく書くための基準について確認されるようにする。</p>	<p>A: 書写で学習した内容を、他教科や日常生活にも積極的に生かしている。</p> <p>支援: 読みやすく書くための基準について確認されるようにする。</p>
【知りたい 文字の世界】 文字の成り立ち	適時	<p>○身のまわりで見られる文字を知り、興味・関心を高めることができる。</p> <p>○平仮名のもとになる漢字を知り、文字に対する興味・関心を高めることができる。</p>	<p>○現代でも見られる昔に作られた文字や、文字は何のためにあるかについて考え、グループで話し合う。 ○昔に作られた文字について調べる。 ○調べたり話し合ったりした結果を発表する。</p>			<p>B: 文字の成り立ちについて関心をもたせ、調べ</p> <p>A: 文字の成り立ちについて関心をもたせ、調</p> <p>支援: ほかの平仮名の字源や片仮名の字源を</p>
4 文字の大きさと配列、点画のつながり『思いやり』	3	<p>○文字の大きさと配列、点画のつながりについて理解することができる。</p> <p>○文字の大きさと配列、点画のつながりに気をつけて書くことができる。</p> <p>○文字の大きさと配列、点画のつながりを確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。</p>	<p>○硬筆と毛筆で『思いやり』を試書する。 ○試書と教材文字を比べて話し合う。 ○教科書を参考にしながら、文字の大きさと配列、点画のつながりについて確認し、練習する。 ○『思いやり』をまとめ書きする。 ○目標に沿って、自己評価をする。 ○学習の成果を生かして、硬筆で『思いやり』『はずむ心』を書く。</p>	<p>B: 点画のつながりについて理解している。 配列のポイントについて理解している。 点画のつながりに気をつけて書いている。 用紙全体に対する文字の大きさに気をつけて、文字の中心を行の中心に揃えて書いている。</p> <p>A: 点画のつながりについて、よく理解している。 配列のポイントについて、よく理解している。 点画のつながりに、よく気をつけて書いている。 用紙全体に対する文字の大きさに気をつけて、文字の中心を行の中心に揃えてよく書いている。</p> <p>支援: 書いている様子を友だちと見合いながら、次につながる穂先の動きについて確かめられるようにする。 中心線が書いてある練習用紙を使うことで、配列が確かめられるようにする。</p>	<p>B: 点画のつながりについて考えている。 用紙に対する文字の大きさと配列について考えている。</p> <p>A: 点画のつながりについて、よく考えている。 用紙全体に対する文字の大きさに気をつけて、よく考えている。</p> <p>支援: 先墨や確思を使って、穂先の向きや通り道が確かめられるようにする。</p>	<p>B: 点画のつながりについて理解している。 配列のポイントについて理解している。 点画のつながりに、よく気をつけて書いている。 用紙全体に対する文字の大きさに気をつけて、文字の中心を行の中心に揃えてよく書いている。</p> <p>A: 点画のつながりについて、よく考えている。 用紙全体に対する文字の大きさに気をつけて、よく考えている。 常に点画のつながりや</p> <p>支援: 次の線へつながる穂先の動きについて確かめられるようにする。 中心線が書いてある練習用紙を使うことで、配列が確かめられるようにする。</p>
【レッツ・トライ】 文化 —『枕草子』を書く	1	<p>○文字の大きさと配列に気をつけて書くことができる。</p>	<p>○縦線用の用紙に『春はあけぼの』を硬筆で試書する。 ○縦書きで配列を整えて書くための基準を理解する。 ○中心線が入ったものや、行頭に破線が入った練習用紙などを選択して練習する。 ○試書とまとめ書きを比べて評価する。 ○いろいろな筆記用具で、『枕草子』の好きな部分を選んで書く。</p>	<p>B: 文字の大きさと配列について理解している。 文字の大きさと配列に気をつけて書いている。</p> <p>A: 文字の大きさと配列についてよく理解している。 行の中心と余白のとり方に気をつけて、配列を整えて書いている。</p> <p>支援: 文字の外形を囲むことで、文字の大きさを客観的に確かめられるようにする。 中心線などの補助線を引いて、配列を確かめられるようにする。</p>	<p>B: 文字の大きさと配列について考えている。</p> <p>A: 文字の大きさと配列について、よく考えている。</p> <p>支援: 試書と教材文字を比較して、自分の課題がわかるようにする。</p>	<p>B: 伝統的言語文化の教材を書く意欲をもっている。 文字の大きさと配列に気をつけて書こうとしている。</p> <p>A: 伝統的言語文化の教材を積極的に書こうとしている。 文字の大きさと配列に気をつけて書こうとしている。</p> <p>支援: まだ書き切れていない漢字については、筆順と字形を確認するよう呼びかける。</p>
【知りたい 文字の世界】 生活と文字	適時	<p>○日常生活の中で見られるさまざまな文字を探し、文字に対する関心を高めることができる。</p> <p>○日常生活の中で見られるさまざまな文字の印象について、話し合うことができる。</p>	<p>○事前に用意しておいた文字資料を提示する。 ○教室内の「文字」を探す。 ○集めた文字資料の中から、任意の数をグループごとに選択して話し合う。 ○「手書き文字」「活字」それぞれの特徴や効果についてまとめる。</p>	<p>B: 日常生活の中で見られるさまざまな文字について知っている。</p> <p>A: 日常生活の中で見られるさまざまな文字について理解している。</p> <p>支援: 教科書紙面を使いながら説明をすることで、話し合いの観点を示すようにする。</p>	<p>B: 日常生活の中で見られるさまざまな文字について話し合い、考えている。</p> <p>A: 日常生活の中で見られるさまざまな文字について積極的に話し合い、よく考えている。</p> <p>支援: 文字に関する発問を用意しておくことで、話し合いの観点を示すようにする。</p>	<p>B: 日常生活の中で見られるさまざまな文字について、関心をもっている。 ほかの文字や硬筆でも、用紙全体に対する</p> <p>A: 日常生活の中で見られるさまざまな文字について、積極的に話し合い、よく考えている。 常に用紙全体に対する文字の大きさを客観的に確かめられるようにする。</p> <p>支援: 筆先に着目するよう促し、穂先の動きが確かめられるようにする。</p>
5 文字の大きさと配列、点画のつながり 【この道や行く人なしに秋の暮】	3~4	<p>○文字の大きさと配列、点画のつながりについて理解することができる。</p> <p>○文字の大きさと配列、点画のつながりに気をつけて書くことができる。</p>	<p>○『この道や行く人なしに秋の暮』を硬筆と毛筆で試書する。 ○試書と教材文字を比べて話し合う。 ○教科書を参考にしながら、文字の大きさと配列、点画のつながりについて確認し、練習する。 ○『この道や行く人なしに秋の暮』を硬筆と毛筆でまとめ書きする。 ○目標に沿って、自己評価をする。</p>	<p>B: 配列のポイントについて理解している。 点画のつながりについて理解している。 用紙全体に対する文字の大きさに気をつけて、行の中心をそろえて書いている。 点画のつながりに気をつけて書いている。</p> <p>A: 配列のポイントについて、よく理解している。 点画のつながりについて、よく理解している。 用紙全体に対する文字の大きさに気をつけて、行の中心をそろえてよく書いている。 点画のつながりに、よく気をつけて書いている。</p> <p>支援: 書いている様子を友だちと見せ合いながら、次につながる穂先の動きについて確かめられるようにする。 外形が書いてある練習用紙を使うことで、配列が確かめられるようにする。</p>	<p>B: 用紙全体に対する文字の大きさに気をつけて、よく考えている。 点画のつながりについて考えている。</p> <p>A: 用紙全体に対する文字の大きさに気をつけて、よく考えている。 点画のつながりについて、よく考えている。</p> <p>支援: 筆先に着目するよう促し、穂先の動きが確かめられるようにする。</p>	<p>B: 配列や点画のつながりに関心をもっている。 ほかの文字や硬筆でも、用紙全体に対する</p> <p>A: 配列や点画のつながりに関心をもち、積極的に書こうとしている。 常に用紙全体に対する文字の大きさを客観的に確かめられるようにする。</p> <p>支援: 小筆を学習や生活の中で生かす活動に、意欲的に取り組むことができる。 筆使いに気をつけて、小筆で書くことができる。 ○行の中心や余白のとり方に気をつけて書くことができる。</p>
【レッツ・トライ】 小筆 —小筆を生かして書く		<p>○小筆を学習や生活の中で生かす活動に、意欲的に取り組むことができる。</p> <p>○筆使いに気をつけて、小筆で書くことができる。</p> <p>○行の中心や余白のとり方に気をつけて書くことができる。</p>	<p>○教科書教材を小筆で書く。 ○小筆の持ち方・執筆方法を教科書の写真を参考に確認する。 ○基本点画の基準を確認する。 ○目標と基準を確認しながらまとめ書きをする。 ○学習の成果を生かして、小筆で年賀状や俳句を書く。</p>	<p>B: 小筆の持ち方や筆使い、配列について理解している。 筆使いに気をつけて、小筆で書いている。 配列や余白のとり方に気をつけて書いている。</p>	<p>B: 小筆の持ち方や筆使い、配列を考えている。</p>	<p>B: 小筆を学習や生活の中で生かす活動に、意欲的に取り組むようになっている。</p>

	2			<p>A: 小筆の持ち方や筆使い、配列についてよく理解し、字形を把握している。筆使いに気をつけて、字形を整えて小筆で書いている。余白のとりに気をつけて、配列よく書いている。</p> <p>支援: 教科書の教材文字を参照し、小筆の筆使いが確かめられるようにする。小筆の持ち方や筆使い、字配りの要点が視覚的に理解できるようにする。</p>	<p>A: 小筆の持ち方や筆使い、配列のよしあしを考えている。</p> <p>支援: 小筆の持ち方の図を使って、持ち方を確かめられるようにする。</p>	<p>A: 小筆で学習や生活の中で生かす活動に積極的に取り組もうとしている。常に小筆で字配りよく書いている。</p> <p>支援: 小筆の持ち方や筆使い、配列に気を付けて書けるよう呼びかける。日常生活に</p>
好きな音楽を書く （『実現』『夢』『仲間』『友情』）	4~5	<p>○好きな音楽を選び、自分のめあてを設定し、めあてに気をつけて書くことができる。</p> <p>○6年間で学習したことを生かして、意欲的に取り組むことができる。</p> <p>○毛筆で選んで書いた音楽を、硬筆で書いて確かめることができる。</p>	<p>○教科書の教材から自分の好きな音楽を選び、毛筆で試書する。</p> <p>○試書と教材文字を比べて話し合い、自分のめあてを決める。</p> <p>○これまでの学習を振り返りながら、グループごとに基準を明確にする。</p> <p>○練習用紙を選択したり自作したりして練習する。</p> <p>○基準に気をつけてまとめ書きをして、試書と比べる。</p>	<p>B: これまで学習した配列や字形の整え方について理解している。自分で選んだめあてに沿ったポイントに気をつけて書いている。</p> <p>A: これまで学習した配列や字形の整え方について、よく理解している。自分で選んだめあてに沿ったポイントに気をつけて、配列よく書いている。</p> <p>支援: 6年間の学習内容や成果が確かめられるようにする。それぞれの教材における要点について、個別に支援するようにする。</p>	<p>B: 6年間で学習したことを生かして、自分のめあてを選んでいる。</p> <p>A: 6年間で学習したことを生かして、自分のめあてを適切に選んでいる。</p> <p>支援: 選んだ教材を試書することで、自分のめあてが見つけられるように支援する。</p>	<p>B: 6年間で学習したことを生かして、自分のめあてを設定し、意欲的に書こうとしている。自分のめあてを</p> <p>A: 6年間で学習したことを生かして、自分のめあてを設定し、積極的に書こうとしている。</p> <p>支援: 自分が書きたい音楽を選び、その教材におけるポイントを確認されるようにする。</p>
書きどめ『理想』『伝統を守る』	4~5	<p>○床の上や立って書くときの姿勢、筆の持ち方に気をつけて、これまでの学習を生かして書くことを理解することができる。</p> <p>○文字の大きさや組み立て方に気をつけて、字形を整えて書くことができる。</p> <p>○文字の中心に気をつけて書くことができる。</p>	<p>○『理想』（または『伝統を守る』）を試書する。</p> <p>○書きどめの姿勢を知る。</p> <p>○試書と教材文字を比べ、基準を理解する。</p> <p>○試書とまとめ書きを比べ、自己評価する。</p>	<p>B: 書きどめの姿勢や筆の持ち方、文字の大きさや組み立て方、文字の中心について理解している。これまで学習した文字の大きさや組み立て方、文字の中心に気をつけて書いている。</p> <p>A: 書きどめの姿勢や筆の持ち方、文字の大きさや組み立て方、文字の中心について、よく理解している。これまで学習した文字の大きさや組み立て方、文字の中心に気をつけて、配列よく書いている。</p> <p>支援: 教科書で学習した文字の組み立て方のポイントについて振り返ることで、確かめられるようにする。書きどめ用紙を縦半分に折り、中心を意識できるようにする。外形を考えることで、文字の大きさについて確かめられるようにする。</p>	<p>B: 書きどめの姿勢や筆の持ち方について考えている。</p> <p>A: 書きどめの姿勢や筆の持ち方のよしあしを考えている。</p> <p>支援: 姿勢図や筆の持ち方の図版などを使って、確かめられるようにする。</p>	<p>B: 書きどめに関心をもち、書こうとしている。ほかの学習の書写場面へも、意欲的に取り組むことができる。</p> <p>A: 書きどめに関心をもち、積極的に書こうとしている。常に姿勢や筆の持ち</p> <p>支援: 書きどめの由来を説明し、書きどめについて関心が高まるようにする。書写の授業以外でも、姿勢や筆の持ち</p>
はってん 『行書』		<p>○中学校で学習する行書の書き方について、興味・関心を高めることができる。</p>	<p>○身のまわりにある行書で書かれた文字を用意しておき、行書への関心を高める。</p> <p>○教科書の楷書と行書で書かれた『春』の文字を比較して、違いについて話し合う。</p> <p>○楷書と行書で『春』を書く。</p>	<p>B: 中学校で学習する行書について関心を高めている。</p> <p>A: 身のまわりで見られる行書で書かれた</p>	<p>B: 中学校で学習する行書について関心を高めている。</p> <p>支援: 身のまわりで見られる行書で書かれた</p>	
6 学習のまとめ 『旅立ちの時』	3~4	<p>○これまで学習したことを生かして、自分のめあてを選んで、意欲をもって書くことができる。</p> <p>○文字の大きさに気をつけて書くことができる。</p> <p>○学習したことを生かして、硬筆で書いて確かめることができる。</p>	<p>○『旅立ちの時』を硬筆や毛筆で試書する。</p> <p>○これまで学習したことの中から自分のめあてを選ぶ。</p> <p>○漢字と平仮名の大きさや配列について理解する。</p> <p>○自分のめあてに向かって練習する。</p> <p>○『旅立ちの時』を硬筆や毛筆でまとめ書きし、試書と比べて達成度を話し合う。</p> <p>○自分のめあてが達成できなかった場合は、既習事項を振り返る。</p>	<p>B: これまで学習した内容について理解している。これまで学習したことを生かして、自分の課題に気をつけて書いている。文字の大きさや配列に気をつけて書いている。</p> <p>A: これまで学習した内容について、よく理解している。これまで学習したことを生かして、自分の課題に気をつけて、字形を整えて書いている。文字の大きさや配列に気をつけて、丁寧に書いている。</p> <p>支援: 学級全体で意見を出し合い、1年間の学習内容や成果が確かめられるようにする。中心線が引いたり、文字の外形を囲んだりして、具体的に示すようにする。</p>	<p>B: 1年間の学習を振り返り、自分の課題について考えている。文字の大きさや配列に気をつけて書こうとしている。</p> <p>A: 1年間の学習を振り返り、自分の課題について考えている。文字の大きさや配列に気をつけて書こうとしている。</p> <p>支援: これまで学習したまとめ書きを見直すようにする。文字の大きさや配列を整えるための留意事項について確かめられるようにする。</p>	<p>B: 1年間の学習を振り返り、自分の学習の成果を確かめようとしている。ほかの学習</p> <p>A: 1年間の学習を振り返り、自分の学習の成果を積極的に確かめようとしている。常に学習の</p> <p>支援: これまで学習した教科書紙面を参照し、学習内容を確かめられるようにする。</p>
6年間で学習したこと		<p>○文字の形や大きさ、組み立て方などに気をつけて、字形を整えて書くことができる。</p> <p>○縦罫線の用紙に、配列に気をつけて書くことができる。</p> <p>○6年間の学習を振り返り、自分の学習の成果を確認することができる。</p>	<p>○教材文字を見ながら1年間で学習したことを振り返る。</p> <p>○縦罫線の用紙に教科書の教材文を試書する。</p> <p>○中心に線を引いて自己修正する。</p> <p>○文字の大きさや配列に気をつけて、まとめ書きをする。</p>	<p>B: これまで学習した内容について理解している。文字の大きさや配列について理解している。</p> <p>A: これまで学習した内容について、よく理解している。文字の大きさや配列について、よく理解している。</p> <p>支援: 学級全体で意見を出し合い、1年間の学習内容や成果が確かめられるようにする。</p>	<p>B: 6年間の学習を振り返り、自分の課題について考えている。文字の大きさや配列に気をつけて書こうとしている。</p> <p>A: 1年間の学習を振り返り、自分の課題について、よく考えている。文字の大きさや配列に気をつけて、字形を整えて書こうとしている。</p> <p>支援: これまで学習したまとめ書きを見直すようにする。文字の大きさや配列を整えるための留意事項について確かめられるようにする。</p>	<p>B: 6年間の学習を振り返り、自分の学習の成果を確かめようとしている。</p> <p>A: 1年間の学習を振り返り、自分の学習の成果を積極的に確かめようとしている。</p> <p>支援: これまで学習した教科書紙面を参照し、学習内容を確かめられるようにする。</p>
【知っておこう】手紙 — お願いの手紙		<p>○書写で学習した内容を、他教科での学習や日常生活にも生かしていく意欲をもつことができる。</p>	<p>○教科書を見て、手紙の書き方と封筒の書き方について確かめる。</p>	<p>B: 手紙の書き方について理解している。</p> <p>A: 手紙の書き方について、よく理解している。</p> <p>支援: 教科書の紙面を参照しながら、手紙の書式について確かめられるようにする。封筒に対して文字が大きすぎたり小さすぎたりするように、教科書を見ながら確かめられるようにする。</p>		

<p>【書いて 伝え合おう】 卒業制作 一思い出に残る言葉を書こう</p>	<p>○書写で学習した内容を、他教科での学習や日常生活にも生かしていく意欲をもつことができる。</p>	<p>○筆記用具の特徴を知る。 ○これまで学習した、紙面に対する文字の置き方について確認し、基準を理解する。 ○自分の決めた文字を入れて練習する。 ○補助線を入れるなど、自分の表現方法に合った練習用紙を作成する。 ○友達と交換し、成果を認め合う。</p>	<p>B：効果的に書くための基準について理解している。 文字の大きさ、行の中心、余白、行頭の位置に気をつけて書いている。 A：効果的に書くための基準について、よく理解している。 文字の大きさ、行の中心、余白、行頭の位置に気をつけて、配列よく書いている。</p> <p>支援：配列は整っているか、筆記用具は効果的に使われているかなど、具体的な投げかけをする。 前章で下書きをすることで、文字の大きさや配列のめやすになるようにする。</p>	<p>B：効果的に書くための基準を確認し、自分のめあてを設定している。 A：効果的に書くための基準を確認し、自分のめあてを設定し、解決方法を選択している。</p> <p>支援：効果的に書くための基準について確認されるようにする。</p>	<p>B：ほかの学習場面でも、配列に書くこと... A：書写で学習した内容を、他教科や日常生活にも積極的に生かしていく意欲を... 支援：昨年の6年生が制作した成果物などを具体的に例示する。書写の授業</p>
<p>【漢字表】 6年生で学習する漢字 5年生で学習した漢字</p>	<p>適時</p> <p>○5年生で学習した字形の整え方などを確かめることができる。 ○6年生で学習した筆使いや筆順、組み立て方などを確かめることができる。 ○巻末漢字表を活用した、漢字の仲間分けの活動を行ったり、筆順がまちがえやすい漢字について確かめたりすることができる。</p>	<p>○筆順のきまりを確認する。 ○筆順に気をつける漢字を正しい筆順で書く。 ○文字の組み立て方の観点から、巻末漢字表の文字を分類し、印を書き込む。 ○友達と見せ合い、正しく書けたか相互評価する。</p>	<p>B：同じ組み立て方の構成をもつ漢字を探すなど、漢字の仲間分けについて理解している。 同じ組み立て方の構成をもつ漢字を探すなど、漢字の仲間分けをしている。 A：同じ組み立て方の構成をもつ漢字を探すなど、漢字の仲間分けについて、よく理解している。 同じ組み立て方の構成をもつ漢字を探すなど、漢字を正しく仲間分けしている。</p> <p>支援：今まで学習した文字の組み立て方などの内容を振り返り、確かめられるようにする。 辞典などを使って、漢字の部分について調べられるようにする。</p>	<p>B：これまで学習した字形の整え方、筆順について考えている。 同じ組み立て方の構成をもつ漢字を探すなど、漢字の仲間分けについて考えている。 A：これまで学習した字形の整え方、筆順について、よく考えている。 同じ組み立て方の構成をもつ漢字を探すなど、漢字の仲間分けについて判断している。</p> <p>支援：教科書紙面を使って、正しい筆順や字形の整え方などが確かめられるようにする。 どの文字のどの部分に着目して探すか、具体的に説明する。</p>	<p>B：巻末漢字表を使った仲間分けの活動や漢字の成り立ちについて、関心を高め、 A：巻末漢字表を使った仲間分けの活動や漢字の成り立ちについて、関心を高め、 支援：巻末漢字表の使い方について確かめるようにする。 書写の授業</p>
<p>【平仮名表】 【消しゴム印の作り方】</p>	<p>○平仮名の字形や筆順について確かめることができる。 ○字形がうまくとれない文字について、重点的に練習する。</p>	<p>○「平仮名表」を見て、平仮名の筆順や字形を確認する。 ○字形がうまくとれない文字について、重点的に練習する。</p>	<p>B：平仮名の筆順や字形について理解している。 A：平仮名の筆順や字形について、よく理解している。</p> <p>支援：ふだん、字形を整えにくい文字に関して、教科書を見ながら確認できるようにする。</p>	<p>B：平仮名の筆順や字形を確認している。 A：平仮名の筆順や字形を、積極的に確かめている。 常に平仮名</p> <p>支援：まちがえやすい筆順について、重点的に確かめるように呼びかける。</p>	<p>B：平仮名の筆順や字形を確認している。 A：平仮名の筆順や字形を、積極的に確かめている。 常に平仮名</p> <p>支援：まちがえやすい筆順について、重点的に確かめるように呼びかける。</p>